

第71期

中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

名糖産業株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第71期中間期（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、当初、震災からの復興需要などの内需に支えられ、さらに米国や中国を始めとする外需に牽引されて、持ち直しの動きが見られました。しかし、その後、長期化するデフレ経済や円高圧力に加え、欧州債務危機や中国など新興国の景気減速による世界的な需要の低迷により、日本経済を取り巻く環境は一段と厳しい状況となりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、食品の安全性に対する消費者意識が高まるなか、デフレ環境下で企業間の低価格競争がますます激化するなど、厳しい事業環境が続きました。

こうした情勢のもと、当社グループは、商品の安全性確保と品質の向上のため品質管理体制の拡充と生産体制の強化に引き続き注力するとともに、お客様の視点に立った高付加価値商品の提供ならびに積極的な販売促進活動を推し進めてまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、震災後に一時的な消費の高まりが生じた前年と比べて個人消費が低調に推移し、前年同期比11.4%減の8,524百万円となりました。営業損益につきましては、事業活動の効率化やコストの削減に努めましたが、売上高の減少ならびに平成22年に稼動しました3工場の減価償却費の負担などにより、422百万円の損失となりました。前年同期は22百万円の営業損失でありました。また、経常損益は166百万円の損失となりました。前年同期は259百万円の経常利益でありました。四半期純損益につきましては、特別利益に投資有価証券売却益20百万円、特別損失に投資有価証券評価損307百万円を計上しました結果、348百万円の損失となりました。前年同期は36百万円の四半期純利益でありました。

事業分野別の動向は、次のとおりであります。

食品事業

当中間連結会計期間におきましては、主力の菓子部門は消費者の節約志向の高まりにより低価格競争が一段と加速して、減収となりました。チョコレート類は、残暑も厳しいなか主力ブランドの「アルファベットチョコレート」や「ナッツチョコレートコレクション」などのファミ

リータイプの商品が苦戦を強いられ、減収となりました。キャンディ類は、特に受託商品の売上が減少しました。

粉末飲料部門は、分包タイプの「しょうが紅茶」は好調に推移しましたが、主力の「レモンティー」や「ロイヤルミルクティー」などは個人消費が低迷するなか売上が落ち込み、減収となりました。

また、主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、新商品を投入して販売促進活動を推進しましたが、減収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカーは、積極的な商品提案や営業施策を展開しましたが、主力のバウムクーヘン類やゼリー類は前年の震災特需の反動もあり、減収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ10.6%減の7,451百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の減少ならびに減価償却費の負担などにより、93百万円の損失となりました。前年同期は142百万円の営業利益でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては海外を主な市場としており、販路拡大に向けて激しい企業間競争が

続くなか、円高や原子力発電所の事故に伴う海外での風評被害の影響を引き続き受けました。厳しさが増す環境下で、顧客獲得を目指し精力的な営業活動を推進しましたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」および脂肪分解酵素「リパーゼ」はともに苦戦を強いられ減収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品、X線フィルムなどの原料の「デキストラン」の売上は増加しましたが、MRI（磁気共鳴画像）診断用肝臓造影剤『リゾビスト』の原薬「フェルカルボトラン」を始めとする「デキストランマグネタイト」は一部が下半期にずれ込んだことも影響し、減収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ17.2%減の905百万円となり、営業損益につきましては、売上高の減少、円高の影響ならびに減価償却費の負担などにより、85百万円の損失となりました。前年同期は82百万円の営業利益でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、本年2月に倉庫の賃貸契約が終了したことなどにより、売上高は前年同期に比べ13.4%減の168百万円となり、営業利益は前年同期に比べ24.9%減の68百万円

となりました。

このような状況下で、当社グループといたしましては、お客様の視点に立った安全・安心で高品質な商品を提供するとともに、企業の永続的な発展を図ることを最大の課題としつつ、各事業分野にわたり強靱な企業体質の確立と収益力の向上に努めることにより、企業価値のさらなる増大を目指す所存であります。

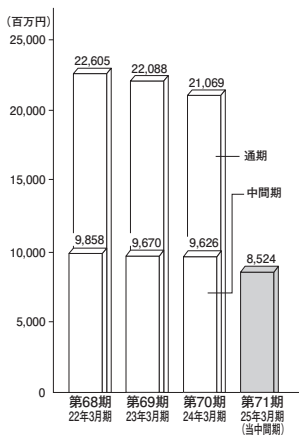
株主の皆様におかれましては、なお一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年12月

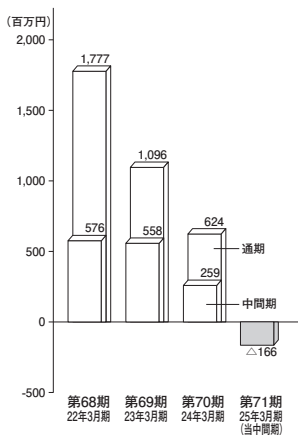
代表取締役社長 水 谷 彰 宏

連結業績の推移

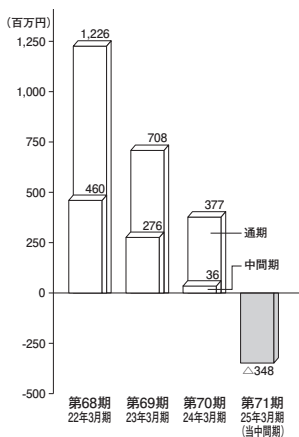
連結売上高



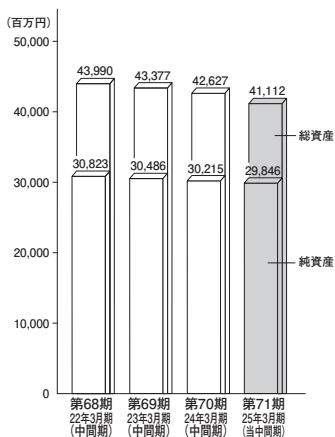
連結経常利益



連結純利益



連結総資産／連結純資産



(注) 連結子会社3社

株式会社エースパーカー、名糖乳業株式会社、プリンスゴルフ株式会社
持分法適用会社1社
名糖アダムス株式会社

第2四半期(中間)連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 (平成24年9月30日現在) (単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	8,806	流 動 負 債	5,125
現金及び預金	1,743	支払手形及び買掛金	2,264
受取手形及び売掛金	3,456	1年内返済予定の長期借入金	914
有 価 証 券	699	未 払 法 人 税 等	11
商 品 及 び 製 品	1,219	返 品 調 整 引 当 金	3
仕 掛 品	346	そ の 他	1,931
原材料及び貯蔵品	979	固 定 負 債	6,140
そ の 他	365	長 期 借 入 金	2,379
貸 倒 引 当 金	△3	繰 延 税 金 負 債	1,215
		退 職 給 付 引 当 金	2,136
		役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	15
		そ の 他	393
		負 債 合 計	11,265
固 定 資 産	32,305	(純 資 産 の 部)	
有形固定資産	12,709	株 主 資 本	26,119
無形固定資産	85	資 本 金	1,313
投資その他の資産	19,510	資 本 剰 余 金	76
投資有価証券	18,845	利 益 剰 余 金	33,266
そ の 他	733	自 己 株 式	△8,536
貸 倒 引 当 金	△68	そ 他 の 包 括 利 益 累 計 額	3,531
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,531
		新 株 予 約 権	195
		純 資 産 合 計	29,846
資 産 合 計	41,112	負 債 ・ 純 資 産 合 計	41,112

四半期連結損益計算書 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
売 上 高	8,524
売 上 原 価	6,201
売 上 総 利 益	2,323
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	2,745
営 業 損 失	422
営 業 外 収 益	327
営 業 外 費 用	70
経 常 損 失	166
特 別 利 益	20
特 別 損 失	307
税金等調整前四半期純損失	453
法 人 税 等	△105
少数株主損益調整前四半期純損失	348
四 半 期 純 損 失	348

(注) 1株当たり四半期純損失 20円72銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (平成24年4月1日から平成24年9月30日まで) (単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,488
現金及び現金同等物に係る換算差額	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△541
現金及び現金同等物の期首残高	2,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,510

会社の概要 (平成24年9月30日現在)

社名	名糖産業株式会社
本社所在地	名古屋市西区笹塚町二丁目41番地
設立	昭和20年2月
資本金	13億1,325万円
事業内容	食品・化成品の製造販売および不動産賃貸
従業員数	366名
主な事業所	支店 東京・名古屋・大阪・福岡 工場 名古屋・枇杷島・小牧・八王子・福岡
子会社	株式会社エースパーカー(愛知県小牧市) 名糖乳業株式会社(福岡県飯塚市) プリンスゴルフ株式会社(福岡県宮若市)

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,265,000株
株主数	8,415名

役員 (平成24年9月30日現在)

代表取締役社長	水谷彰宏
専務取締役	水野修
常務取締役	小島寛志
取締役	加藤重昭
取締役	瀧川敦志
取締役	山下喜郎
常勤監査役	佐野佳之
監査役	寺澤弘
監査役	稲越千束

- (注) 1. 取締役山下喜郎氏は、社外取締役であります。
2. 監査役寺澤弘氏および稲越千束氏は、社外監査役であります。

meitoは 暮らしの定番品です。

ドーナツパーティーチョコレート



見た目もたのしいドーナツのかたち

2種類のドーナツのかたちと5種類の異なった風味が楽しめるチョコレートです。

しょうが紅茶



体の中から燃やします

はちみつを加えてまろやかに仕上げたしょうが紅茶です。便利なスティックタイプになりました。



スティックタイプ

株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 6月中
- 中間配当制度** 行っておりません。
- 公告の方法** 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告により公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告のホームページアドレス <http://www.meito-sangyo.co.jp>
- 上場証券取引所** 名古屋・東京
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先)** 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。

(お知らせ)

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に
口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口
座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■株主様ご優待

毎年9月末(中間期末)現在100株以上ご所有の株主様へ当社
または当社グループ商品の詰め合わせを年1回12月上旬に贈呈
させていただきます。

- 100株以上 1,000株未満 … 小売価格 1,500円相当商品
- 1,000株以上 5,000株未満 … 小売価格 3,000円相当商品
- 5,000株以上 ……………… 小売価格 5,000円相当商品

meito

名糖産業のホームページをご覧ください。

<http://www.meito-sangyo.co.jp>